

創業111年の建設技術で 人と海を豊かにする

時代の変化を先取りした技術で 地域発展に貢献することを使命としています

時代のニーズに応じた海洋工事技術を開発・提供

大型船が横付けして船積み荷揚げをする欧米の港湾に比べ、遠浅で荷役作業が困難な東京湾に国力の差を感じた創業者の浅野総一郎が、明治後期、安田善次郎や渋澤栄一の資金協力を得て弊社の前身企業（鶴見埋立組合）を創設しました。その会社による埋め立て事業により作られたのが京浜工業地帯です。創業以降、弊社はこの地から海洋工事を主軸とした事業を行ってきました。

海洋工事で培ってきた豊富なノウハウやネットワークを基に、お客様のご相談に迅速かつ的確にご提案をする場として 40年前より「海の相談室」を開設しています。当窓口は日本の建設会社では珍しい海専門の相談窓口で、個人から企業・官公庁まで幅広くご利用いただいております。

また、弊社は大林組と共同で、次世代エネルギー源として今後拡大が期待される洋上風力発電所の建設に使用する作業船（SEP）の建造に着手しました。このSEPを武器に、わが国における洋上風力発電建設のバイオニアを目指して取り組んでいます。



埋立て生まれた安善町の全景（昭和初め）



技術研究開発センター（鶴見区安善町）

多機能研究施設で未来につながる技術を開発

2016年には弊社設計施工による新たな技術研究開発センターを、発祥の地である鶴見区安善町に開設いたしました。建設会社に求められるニーズが年々多様化する中で技術レベルの発展・向上のため最新設備を導入した研究施設です。この最新の施設・設備を有効活用することにより、効率的で確実な社会貢献に資する技術の開発に日々取り組んでおり「横浜鶴見から全国へ、世界へ、そして未来へ」通じる弊社の技術の礎を担っています。

また、研究機能にとどまらず、地域の防災拠点やショールームとしての役割も兼ね備えているほか、地域の小中学生の社会見学や建設業界を志す学生の見学受入れを行うなど、地域に開かれた技術センターです。



洋上風力発電所建設の作業船 SEP のイメージ図



執行役員横浜支店長 本多 将人 氏

弊社の創業者が築いた京浜工業地帯が世界有数の工業地帯として発展していることを嬉しく思います。

今後は、歴史の長い工場が集まるこの地に土木・建築の技術開発拠点を置く企業として、海上交通インフラの建設による地域の付加価値創造や経年構造物の補強・維持管理といった側面から、周辺企業様の課題解決や更なる高度化を確かな技術と信頼で支えていきたいと考えています。

東亜建設工業株式会社 横浜支店

〒231-8983 横浜市中区太田町 1-15 関内東亜ビル
TEL 045-664-1331 FAX 045-664-0900
<https://www.toa-const.co.jp/>

